令和７年　　月　　日

（※代表申請者が荷主事業者の場合）

経済産業省 商務・サービスグループ 物流企画室　宛

（※代表申請者が物流事業者の場合）

国土交通省 物流・自動車局 物流政策課　宛

（代表申請者）　住所

　 事業者名

　 代表者の氏名

令和７年度　物流パートナーシップ優良事業者表彰

申請書

１．申請事業の名称

|  |
| --- |
|  |

２．申請者

|  |  |
| --- | --- |
| [代表申請者]  （幹事） | 荷主・物流事業者（※どちらかに○をつけてください）  事業者名：　　　　　　　　　　　　代表者：  所 在 地：  担当部署：  担当者名：  電　　話：　　　　　　　　　　　　E-mail： |
| [共同申請者] | 事業者名：　　　　　　　　　　　　代表者：  所 在 地：  担当部署：  担当者名：  電　　話：　　　　　　　　　　　　E-mail： |
| [共同申請者] | 事業者名：　　　　　　　　　　　　代表者：  所 在 地：  担当部署：  担当者名：  電　　話：　　　　　　　　　　　　E-mail： |
| [共同申請者] | 事業者名：　　　　　　　　　　　　代表者：  所 在 地：  担当部署：  担当者名：  電　　話：　　　　　　　　　　　　E-mail： |
| [共同申請者] | 事業者名：　　　　　　　　　　　　代表者：  所 在 地：  担当部署：  担当者名：  電　　話：　　　　　　　　　　　　E-mail： |

　※申請者の情報について、すべての項目を記入ください。

　※共同申請者の項目が足りない場合は、追加の上、記入をお願いいたします。

３．事業の内容

|  |  |
| --- | --- |
| 背景と目的 | 【事業を行うに至った背景（事業実施を企図するに至った課題感と経緯等）】  【事業を実施した目的】 |
| 事業の概要 | ※記入に当たっては、取組の主体や内容、効果等について具体的に記入くださいますようお願いします。  （１）本事業の取組前（～○年○月）  ①実施内容及び実施体制（各社の役割分担）  ※事業実施前の、各社の取組の状況を明確に記載すること。  ②本事業の実施前フロー  ※実施前の業務フローが明示的に分かる図や写真等を添付してください。  （２）本事業の取組　（事業開始：○年○月～現在に至る）  ①実施内容及び実施体制（各社の役割分担）  ※事業実施に当たり、申請者の共同実施体制について、申請者に名を連ねている各社の役割を明確に記載すること。  ②実施後フロー  ※実施後の業務フローが明示的に分かる図や写真等を添付してください。  （３）本事業における新規性  ※これまで同じ業界の中で実施されたことのない物流効率化のビジネスモデルを構築した取組など、特筆する点があれば記載ください。  （４）本事業における継続性  ※ＣＯ２排出量削減等の環境負荷低減や生産性向上等を継続するために行う改善方策等、特筆する点があれば記載ください。  （５）本事業における困難克服性  ※困難な課題に取り組み、解決したなど、特筆する点があれば記載ください。  （６）事業概要図  別添の様式２のとおり。  ※ご提出必須となりますので、ご留意ください。 |

４．事業の成果

|  |
| --- |
| （１）本事業における環境負荷低減への貢献  ※輸送によるＣＯ２削減効果の根拠について、原則として様式１を用いて計算の上、提出してください。添付は必須となります。  ※輸送以外の取組によるＣＯ２排出削減量がある場合には、任意の形式で計算根拠を添付してください。  ※ＣＯ２排出削減量及び削減率以外にも、環境負荷低減への貢献について、特筆する点があれば記載ください（定性的な記述でも構いません）。  （２）本事業における業界への啓発・波及効果（先導性等）  （例：ニュースリリースによる発信、業界団体への周知等）  （３）本事業における物流生産性向上  （例：トラック台数の削減、積載率の向上、ドライバーの荷待ち・荷役等時間の短縮、省人化効果等）  ※これらの記入は、定量的ではなく定性的な記述でも構いませんが、根拠等が分かる資料があれば任意の形式で添付してください。  （４）本事業における物流DXや標準化の推進  ※物流DXや標準化の取組により、既存オペレーションを改善し、ムリ・ムラ・ムダのない物流を実現したなど、特筆する点があれば記載ください。  （５）本事業における物流構造改革の推進  ※商習慣の見直し、ホワイトな労働環境の整備、パレット化等を実現し、担い手がゆとりを持って働ける物流を実現したなど、特筆する点があれば記載ください。  （６）本事業における強靱や持続可能の推進  ※代替輸送ルートの確保、物流インフラの耐震化や老朽化対策、モーダルシフトの更なる推進など、特筆する点があれば記載ください。  （７）本事業における その他特筆すべき成果 |

５．その他（該当項目に「ﾚ」）

□「エコレールマーク運営・審査委員会」が実施する「エコレールマーク」認定企業である。

　事業者名【　　　　　　　　　　】認定日【　　年　　月　　日】

□「エコシップ・モーダルシフト事業・実行委員会」が実施する「エコシップマーク」認定企業である。

　事業者名【　　　　　　　　　　】認定日【　　年　　月　　日】

□ＩＳＯ１４００１（環境マネジメントシステムに関する国際規格）を取得した事業所において行うもの。

　事業者名【　　　　　　　　　　】認定日【　　年　　月　　日】

□交通エコロジー・モビリティ財団が実施する「グリーン経営認証制度」に基づく認証を取得した事業所において行うもの。

　事業者名【　　　　　　　　　　】認定日【　　年　　月　　日】

□「流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律」（物効法）の認定を受けた事業と関連した事業である。

　認定番号【（例）2○○○○○○○商第○号、国総物第○号　】認定日【　　年　　月　　日】

□「エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律」（省エネ法）に規定された計画書に記載されている事業である。

計画書名【　　　　　　　　　　】日付【　　年　　月　　日】

□申請者の内少なくとも１事業者以上が「ホワイト物流推進運動」の「自主行動宣言」の必須項目に合意し、賛同表明している。

　事業者名【　　　　　　　　　　】表明日【　　年　　月　　日】

□「地球温暖化対策の推進に関する法律」又は低炭素社会実行計画に記載されている事業である。

計画書名【　　　　　　　　　　】日付【　　年　　月　　日】

□賞罰　【　　　年　　月　　日（種別）　　　　　　（事由）　　　　　　　　　　　　　　　　】

【　　　年　　月　　日（種別）　　　　　　（事由）　　　　　　　　　　　　　　　　】

□その他【　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　】